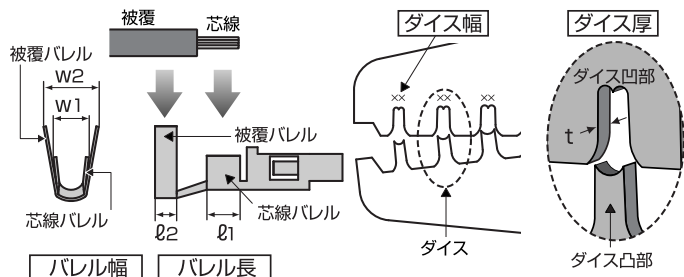


精密圧着ペンチ取扱説明書

ENGINEERシングル圧着工具シリーズは、芯線バレルと被覆バレルを個別に圧着する事によって、一本で多くの種類の端子に対応できます。

端子各部の名称



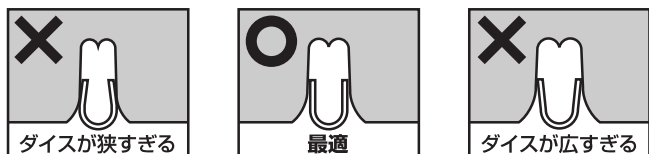
■端子と電線の機械的特性(引抜強度)は芯線部の圧着によって決まります。従って、強度確認を行う為に芯線部を先に圧着して下さい。

手順1 芯線圧着用ダイスの選定

(1-1) 芯線バレルを平行にした時の幅をノギスで計測して下さい。



(1-2) 測定したバレルの幅に近いダイスを選びます。

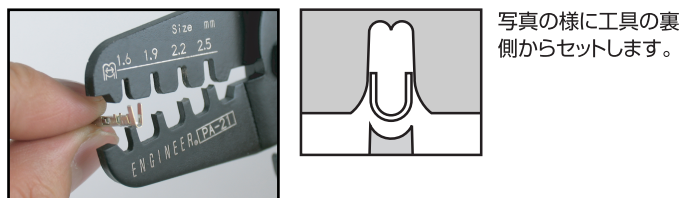


(例) バレルの測定値: 1.5mm → 1.6mmのダイスを選択します。

⚠ 芯線バレルの軸方向の長さ(φ1)がダイスの厚み(t)と比べて大き過ぎたり、小さ過ぎる端子は綺麗に圧着できない場合がございます。
注意 適合端子リストをご確認下さい。

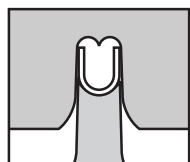
手順2 端子の装着

(2-1) 選択したダイスの凹部に芯線バレルを手で装着して下さい。



・バレルの先端が開いてダイスにセットしにくい場合は、先端を工具等ではさんで開きを押さえて下さい。但し、閉じすぎると綺麗に圧着できない場合がありますので、平行より少し開いている程度でセットして下さい。

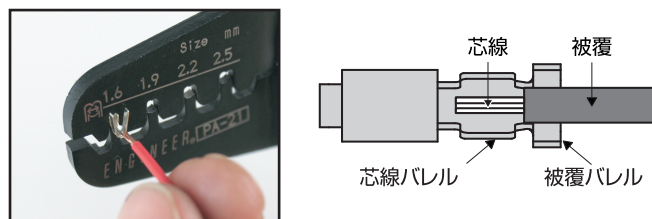
(2-2) グリップを軽く握り、芯線バレルとダイスを仮固定します。



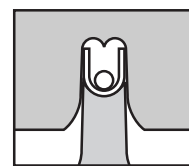
・握り込み過ぎるとバレルが変形し、後で電線が挿入し難くなります。端子がダイスの中で動かない程度に軽く握って下さい。

手順3 芯線部の圧着

(3-1) ストリップしたコードを芯線バレルに挿入して下さい。

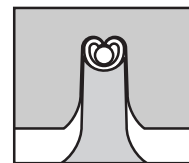


⚠ 深く差込み過ぎると被覆まで圧着してしまい、通電不良が起こることがあります。また、差込みが不十分の場合は引抜強度が低下する場合があります。



・左右のバレルが芯線を均等に押さえるように、コードを中心にセットして下さい。

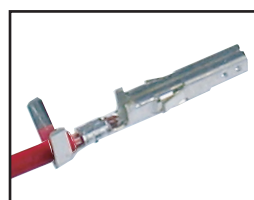
(3-2) 電線をセットした状態で、グリップを握り込み本締めします。



・芯線バレルがダイスにあわせてしっかりカールするように圧着します。締め込み加減については、ご使用の端子とコードの組合せによって微調整して下さい。

⚠ 締め込みが不十分の場合は引抜強度が低下する場合があります。また、強く握り込み過ぎると、端子が過大に変形してしまう場合があります。

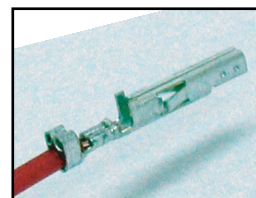
(3-3) 芯線の圧着後、引抜強度を確認して下さい。



⚠ 引抜強度は各端子メーカーの基準を参考にして下さい。本製品による引抜強度の保証は行っておりません。

手順4 被覆部の圧着

芯線圧着の手順1～3と同様にダイスを選択し圧着して下さい。



⚠ 被覆線の圧着はカールさせたバレルでコードを押さえつけて固定する為のものです。過度の力をかけると被覆が破れる恐れがあります。

テクニカルサポートセンター

営業時間: AM9:00～17:15(土日祝日、休日)

06-6974-0100